

# 特定非営利活動法人 どさんこ海外保健協力会

どさんこ海外保健協力会は、北海道で家庭医の草分け的存在として地域医療を実践してきた檜戸健次郎医師を中心に 1994 年に設立された、発展途上国で保健活動を行う北海道発の NGO です。設立以来、医師やコーディネーターの長期ワーカーを派遣し、カンボジアの農村部では保健ボランティアの育成や健康保険のシステムづくりなどの地域保健の支援を行ってきました。



2011 年の東日本大震災では、宮城県気仙沼市を中心に支援を行い、2015 年度までは毎月、医師看護師を派遣し、現在もコミュニケーターを支える地元団体の支援を続け、仮設住宅や地域での健康相談会などを実施しています。

ネパールでは、2011 年度より、西部の地方の病院で予防教育や衛生環境整備といった活動の支援をしています。2015 年 4 月のネパール大地震では、避難所での仮設学校や診療所の支援から、震災孤児への生活、教育支援を行っています。国内では、活動地を訪ねるスタディツアーの企画や、月 1 回、テーマを決めて楽しみながら「国際協力」を語る会を催しています。

ホームページ <http://dosanko-hokkaido.com>

電話 080-4049-1135

電子メール [hopedosanko@yahoo.co.jp](mailto:hopedosanko@yahoo.co.jp)

## 総会のお知らせ

どさんこ海外保健協力会では毎年総会にあわせ講演を開催しています。今年のテーマはどさんこ海外保健協力会でも取り組んできた東日本大震災です。原発事故後の福島を撮り続けている写真家の菊池和子氏をお招きします。“どさんこ”の 3 番目の目標にもあるように、気仙沼や福島のことを考えることが、北海道に住む私たち自身の生活を見直していく機会となります。講演はどなたでも参加できますので、どうぞよろしくお願いいたします。



日時：2019年6月22日（土）

15：30～17：00 講演；東日本大震災活動報告と原発事故後の現状

「8年後の気仙沼、そしてこれから」 代表理事 大泉 樹

「このフクシマ、奪われし人々」 写真家 菊池 和子

17:10～17:40 NPO 法人どさんこ海外保健協力会 2019 年度総会

場所：札幌市社会福祉総合センター 3F 第3会議室（札幌市中央区大通西19丁目）

地下鉄東西線「西18丁目駅」下車 1番出口 徒歩3分